株式会社システナ

証券コード：2317

第40期

2021年4月1日～2021年9月30日

中間株主通信

デジタル社会を、幸せな社会へ。
ITサービスのシステナ

systena

事業概要　7つの事業が連携しALLシステナとして、ITに関する幅広い領域で

トータル・ソリューション・サービス

企画・提案 → 設計 → 開発・構築 → 導入 → 教育 → ヘルプデスク → 運用・保守

企画から保守までのトータル・ソリューション・サービスを提供しています。

ソリューションデザイン事業

自動運転・車載システム、通信事業者サービス、社会インフラ関連システム、スマートフォンやWebアプリなどの開発、ロボット・人工知能・IoTを使った組込み開発など各種システム、サービスの企画から設計・開発・検証・運用までを一貫してサポートしています。

主要顧客：通信キャリア、通信機器メーカー、自動車メーカー、インターネットビジネス企業

フレームワークデザイン事業

金融機関（損保・生保・銀行）をはじめ、産業系・公共系などの幅広い業種向けに、基幹・周辺システムの開発およびインフラ・基盤系システムの設計・構築を行っています。

主要顧客：損保、生保、銀行、一般事業法人

ITサービス事業

システムやネットワークの運用・保守・監視、ヘルプデスク・ユーザーサポート、データ入力、大量出力、モバイル端末アプリおよびインターネットコンテンツの開発支援・品質評価など、ITに関する様々なアウトソーシングサービスを行っています。

主要顧客：電機メーカー、銀行、外資系企業、官公庁、インターネットビジネス企業

ビジネスソリューション事業

サーバー、パソコン、周辺機器、ソフトウェアなどのIT関連商品を企業向けに販売しています。また、基盤構築、仮想化など、IT機器に関連した最新のサービスやプロダクト導入サービス（RPA・BIツールなど）の企画・開発・提供を行っています。

主要顧客：電機メーカー、外資系企業をはじめとする一般事業法人

クラウド事業

自社サービス『Canbus.\キャンバスドット』、『Cloudstep』、『Web Shelter』の提供および『Google Workspace』、『Microsoft 365』などクラウド型サービスの提供・導入支援を行っています。

主要顧客：一般事業法人（中堅から大企業まで）

海外事業

モバイル通信関連技術支援、開発・検証支援、各種ソリューションの提供、最新技術やサービスの動向調査および事業化を行っています。

主要顧客：日系企業、アメリカ企業、通信キャリア、通信機器メーカー

投資育成事業

子会社（株式会社ONE Tech Japan）を通じてIoTサービスを中心とした新規事業を行っています。
子会社（株式会社GaYa）を通じて、スマートフォン向けソーシャルゲームの企画・開発・提供を行っています。

株主の皆様へ — 第40期第2四半期の連結業績概況

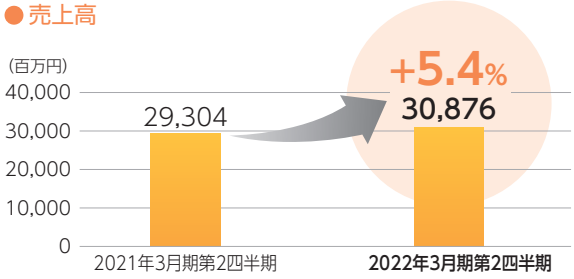
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第40期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の
概況につきましてご報告申し上げます。
今後とも変わらぬご支援を賜りますよう
宜しくお願い申し上げます。

2021年12月
代表取締役社長　三浦　賢治

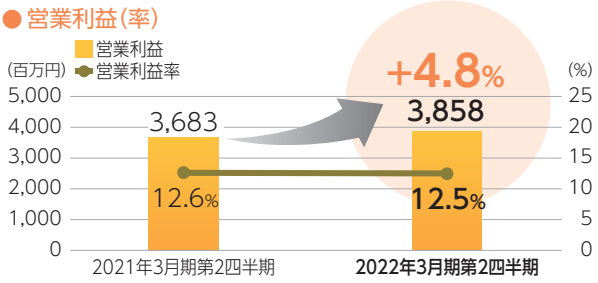
業績概況　売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

当第2四半期は、新型コロナウイルス感染拡大防止策により経済活動が抑制される中、引き続き、リモート営業およびテレワークによるITサポートやソフトウェア開発支援などにより事業活動を推進し、既存顧客の囲い込みに重点を置いた営業展開を進めた結果、売上高は前年同期比5.4%増の30,876百万円、営業利益は同4.8%増の3,858百万円となりました。

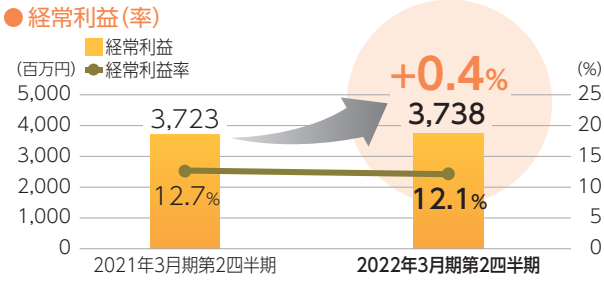
● 売上高



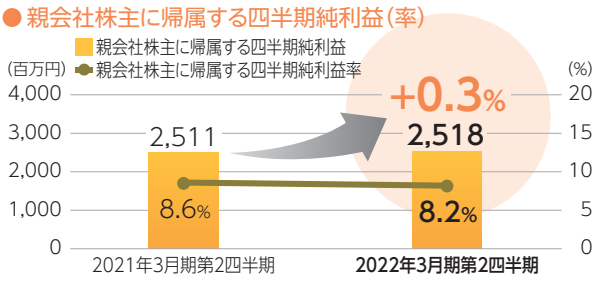
● 営業利益（率）



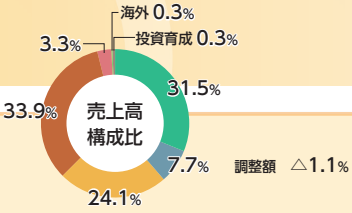
● 経常利益（率）

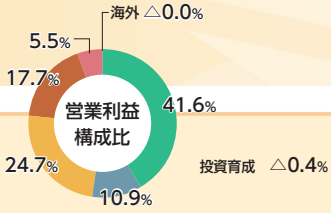


● 親会社株主に帰属する四半期純利益（率）



各事業の概況





ソリューションデザイン

	売上高	営業利益
ソリューションデザイン	9,718百万円	1,606百万円

車載：Mobility as a Service（MaaS）関連で受注を獲得。車載インフォテインメント、テレマティクスの一時的な冷え込みはありますが、新型コロナウイルス感染症流行の収束後を見据えたMaaS関連のPoCが回復基調にあり、今後ますます伸張していくと予想されます。当分野を長期的な重点注力分野と位置づけ、モビリティ領域での更なる存在価値の向上を目指しています。

社会インフラ：特に5Gインフラ整備業務で売上を大きく伸ばしました。また、5Gインフラを活用するサービス開発の引き合いが旺盛なため、引き続き5G関連に注力し、サービス開発分野への展開も推進しています。

ネットビジネス：5Gに向けたサービス開発、キャッシュレス決済、個人データの利活用に関連するシステム開発・検証などで堅調に推移しています。

プロダクト：強みである「AI」、「IoT」をキーワードに、「スマート家電」に関する開発・品質検証が堅調に伸長しています。

DXサービス：システム開発に加えて自社サービスやOSS（Open Source Software）の活用を提案し多くの引き合いをいただきました。引き続き自社サービスを拡充し、顧客の顕在的・潜在的な課題を解決することで、受注拡大と収益性向上を図ります。

フレームワークデザイン

フレームワークデザイン	2,370百万円	421百万円

金融分野は生損保、銀行業のお客様を対象とした保守開発案件を中心に底堅く推移。インターネットバンキング開発やデータ活用基盤開発などのDX関連案件への展開が進んでいます。公共分野ではマイナンバー関連や文教関連の新規案件受注により売上増に繋がり、システム開発、インフラ構築、運用保守開発それぞれの領域で新規プロジェクトが立ち上がっており、今後はDX関連の案件獲得も視野に展開を図っています。また、流通／サービス分野では、一般中堅企業をターゲットに受注活動を推進し、開発ラボを活用した新規開発から運用、インフラ構築までのトータルサポートにより、受注が増加しています。

ITサービス

ITサービス	7,443百万円	952百万円

請負型ITサポート業務とアセスメント、コンサルティングのサービス等、顧客のビジネス成長とそのスピードアップにより直結したサービスの提供に注力しました。ソフトウェアテストサービス事業においては、BtoBtoC向けにWebコンテンツ／アプリを提供するお客様へ、品質管理工程のコンサルティングからデバッグまでの全工程でのテストサービスを提案することにより、受注拡大と収益性の向上に取り組みました。

ビジネスソリューション

	売上高	営業利益
ビジネスソリューション	10,472百万円	682百万円

テレワーク常態化やデジタル化への対応案件が動き出し、テレワーク時のセキュリティリスクを回避する多要素認証ソリューションやクラウドとオンプレミスを併用したバックアップシステムの見直しなどを提案しました。また、デスクトップ環境をクラウドのサーバーから提供するAVD環境（Azure Virtual Desktop）の構築や、既存システムをそのままクラウドへ移行し最適化する提案を進め、さらには期初に統合したRPAやデータ連携ツールを手掛けるDX推進部との連携により、デジタル化に向けたシステム開発、保守運用案件も受注できました。しかしながら、テレワーク需要が一巡したこと、加えて世界規模での半導体の供給不足により、PC、サーバー、ストレージ、ネットワーク装置などIT機器の調達が困難な状況が続いており、減収減益となりました。

クラウド

クラウド	1,003百万円	212百万円

DXプラットフォーム『Canbus.』の引き合いを多くいただき、ライセンスの販売だけでなく、業務系システムのリプレースやシステム連携などインテグレーション案件を数多く受注しました。このような状況を受け、より多くの企業のDXを実現させるべく新機能提供やアライアンスを加速させました。注力商材として積極投資と営業強化を推進しています。

海外

海外	88百万円	△1百万円

アメリカ子会社は、コロナ禍でもAIやIoT案件、特に日系企業からスタートアップ企業の要素技術を使ったPoC開発の引き合いが継続しています。加えて『Canbus.』の営業活動をアメリカでも開始しました。アメリカ子会社の出資先である米国ワンテック社は、ルネサスエレクトロニクス株式会社等とパートナーシップ契約を結び、独自開発の『MicroAI™』を提供しています。これにより、ルネサスエレクトロニクス製マイクロコンピュータを採用する民生機器、産業機器、車載関連などに『MicroAI™』を搭載することが可能になります。また、ワンテック社はアメリカ国内の製造業を中心にPoC受注が活況になってきており、独自開発のAIソリューションの普及に向けて、複数のMCUメーカーとアライアンスを組み、共同営業展開などを活発に行っています。

投資育成

投資育成	87百万円	△15百万円

株式会社ONE Tech Japanは、ワンテック社のIoTエッジコンピューティングAI技術『MicroAI™』の販売促進のため、『MicroAI™』SDKのオンライン展開に向けて、アメリカ子会社と連携して準備を進めました。株式会社GaYaは、当第2四半期にゲーム事業でのサービス中タイトルを2本まで縮小し、来期のリリースを目標とした新規ゲームコンテンツの企画・開発に注力するフェーズへ予定通り移行しています。

システナオリジナルサービスのご紹介

社員のモチベーションが上がり、目標管理ができるデータ経営型グループウェア

Palette.

Palette.とは、社員のやる気を引き出し、関係の質を上げるコミュニケーションツールです

一方通行になりがちな日報、ビジョンの共有や交流を、双方向コミュニケーションとして活性化し、「関係」「思考」「行動」「結果」の4つの質を高め、会社をグッドサイクルへと導きます。

主な機能

- 日報
- プロジェクト報告
- ToDo管理
- 掲示板
- 目標管理
- 営業管理
- ワークフロー
- 人事評価
- 1on1ミーティング
- タイムライン

クラウドタイムカードサービスによる新しい勤怠管理のカタチ

TimeTapps

勤怠＋αのTimeTapps

勤怠管理に加えて業務ごとの記録ができ、そのまま日報作成も可能になります。モチベーション機能などもあり、今までの働き方を見直し、自由で生産性の高い働き方を創造できます。

クラウドタイムカードサービスとは

従来のタイムカードでの勤怠管理と比べ、導入や集計のコスト・業務時間を大幅に削減可能なサービスです。リアルタイムにいつでもどこからでも勤務状況を把握でき、社員の雑務時間を削減し、生産性の向上を実現できます。クラウドなのでサーバーなどの費用も不要。低価格かつ短い納期で導入可能です。

ソリューションデザイン事業で推進しているDXサービスをご紹介します。

無人受付で スマートなおもてなしを

VelTouch.

「Welcome!」と来訪者を迎え入れ、簡単に「Touch」するだけで受付が完了

受付のタブレットで4ケタの数字をタップするだけで、電話応対が不要になる受付システムです。受付後は、ビジネスチャットで担当者を自動で呼び出します。応対にかかる手間や時間が大幅に削減されます。

社内通貨（ポイント）で 感謝の気持ちをプレゼント！

TenaPoint.

ポイントGive! 好きな商品購入! タイムリーな「ありがとう」が評判

会社独自のポイントを発行するサービスです。良い取り組みをした社員や目標を達成した社員へ、タイムリーにポイントを付与することで社員のモチベーションが向上します。社員同士が感謝の気持ちをポイントとして贈り合うことで、テレワークで希薄になりがちな社内コミュニケーションの円滑化を促進することができます。付与されたポイントは、会社が用意した商品や社内サービスと交換することができます。

いつでもどこでも、 技術のノウハウを社内で共有

TENATECH

検索したキーワードをハイライト。スクロールだけで記事を横断、見通し抜群

TENATECH. とは、技術知識やノウハウを資産化するためのプラットフォームです。同じことを多くの社員が調査しなくても良いように、一人ひとりが業務を通じて体験したことや、調査したこと・学んだことを記事にして共有することで、組織全体の技術知識と生産性の向上が期待できます。テレワークにも最適な会社独自の教育ツールです。

財務諸表（連結）

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 2021年9月30日現在	前期末 2021年3月31日現在
流動資産合計	32,885	33,420
現金及び預金	19,513	19,037
受取手形及び売掛金	—	12,826
受取手形、売掛金及び契約資産	11,750	—
その他	1,622	1,556
固定資産合計	5,931	5,465
有形固定資産	973	917
無形固定資産	305	307
投資その他の資産	4,652	4,240
資産合計	38,817	38,886

	当第2四半期末 2021年9月30日現在	前期末 2021年3月31日現在
負債合計 ❶	11,271	12,889
流動負債	11,161	12,746
固定負債	110	143
純資産合計 ❷	27,545	25,996
株主資本	27,288	25,734
資本金	1,513	1,513
資本剰余金	6,010	6,010
利益剰余金	24,808	23,261
自己株式	△5,044	△5,052
その他の包括利益累計額合計	△109	△102
非支配株主持分	366	364
負債純資産合計	38,817	38,886

財務諸表に関するトピックス

❶ 負債合計は、買掛金1,159百万円の減少、未払法人税等328百万円の減少、未払金及び未払費用337百万円の増加により、前期末と比較して1,617百万円減少しました。

❷ 純資産は、前期末と比較して1,548百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,518百万円、剰余金の配当972百万円によるもので、自己資本比率については、前期末と比較して4.1ポイント上昇し70.0%となりました。

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	前第2四半期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
売上高	30,876	29,304
売上原価	23,458	22,375
売上総利益	7,417	6,928
販売費及び一般管理費	3,558	3,245
営業利益	3,858	3,683
経常利益	3,738	3,723
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,518	2,511

通期業績予想（連結）

2021年5月11日に公表いたしました通期業績予想に修正はございません。

（単位：百万円）

	当期 通期業績予想	前期 通期実績	増減率（%）
売上高	66,100	60,871	8.6%
営業利益	8,300	8,006	3.7%
経常利益	8,004	7,507	6.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,371	4,974	8.0%

株式分割について

当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的に、2021年12月1日をもって当社普通株式1株を4株に分割いたしました。

配当について

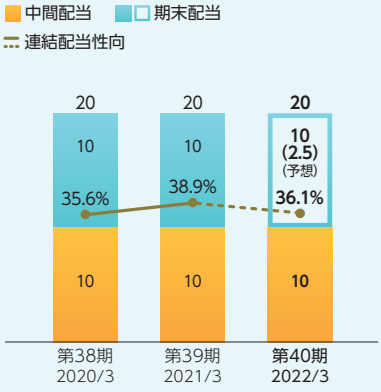
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しており、安定配当の継続をベースとした上で、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としています。

具体的には、各期の業績および財務状況などを勘案して、連結配当性向40%を目標に、株主の皆様への利益還元策を積極的に行っていきます。

上記の方針のもと、当期の中間配当は、公表のとおり1株当たり10円とさせていただきました。

当期の期末配当につきましては、2021年12月1日の株式分割後、1株当たり2.5円を予定しています。

1株当たり配当金の推移（単位：円）



※（）は2021/12の株式分割（1株につき4株）後の数字

グループ会社概要（2021年9月30日現在）

グループ会社との連携による総合力の強化により、事業の拡大を図っています。

株式会社IDY（アイ・ディ・ワイ）
資本金：6,500万円
出資比率：76.7%
携帯端末を含む無線インフラを中心とした各種通信デバイス・通信ソフトの販売、無線通信に関わる各種開発 ★

Systena America Inc.（システナアメリカ）
資本金：2,800万米ドル
出資比率：100.0%
モバイル通信関連技術支援、開発・検証支援、各種ソリューションの提供、最新技術やサービスの動向調査および事業化 ★

出資 → **StrongKey, Inc.（ストロングキー）**
資本金：765万米ドル　出資比率：28.8%
暗号化および認証製品の開発・販売 ●

出資 → **ONE Tech, Inc.（ワンテック）**
資本金：600万米ドル　出資比率：50.0%
IoTソリューションパッケージの開発・販売 ●

Systena Vietnam Co.,Ltd.（システナベトナム）
資本金：20万米ドル
出資比率：100.0%
ソフトウェア開発・品質評価・運用・保守、ITサービス全般 ★

製品の供給、ノウハウの提供

オフショア開発

株式会社システナ

- ソリューションデザイン事業
- フレームワークデザイン事業
- ITサービス事業
- ビジネスソリューション事業
- クラウド事業
- 海外事業
- 投資育成事業

人材リソースの提供

協業

スマートフォン向けソーシャルゲームの企画・開発・提供で協業

製品の供給

HISホールディングス株式会社
資本金：9,500万円
出資比率：25.2%
システム構築、パッケージソフトの開発・販売、情報機器の販売 ●

株式会社ProVision（プロビジョン）
資本金：8,500万円
出資比率：100.0%
モバイル端末アプリおよびインターネットコンテンツの開発支援・品質評価を中心とした総合ネットサービス事業 ★

東京都ビジネスサービス株式会社
資本金：1億円
出資比率：51.0%（東京都49.0%）
データ入力、大量出力、メーリング、発送代行、事務局代行、事務処理代行（東京都との合弁による重度障害者雇用モデル企業） ★

株式会社ONE Tech Japan（ワンテックジャパン）
資本金：8,500万円
出資比率：87.5%
AI、IoT、ロボット、Fintech、ソーシャルメディア関連の企画・開発・販売などのサービス提供 ★

株式会社GaYa（ガヤ）
資本金：7,500万円
出資比率：100.0%
スマートフォン・PC向けソーシャルゲームの企画・開発・運営 ★

★印は連結子会社、●印は持分法適用関連会社

会社の概況 (2021年9月30日現在)

会社概要

社名	株式会社システナ
設立	1983 (昭和58) 年3月
資本金	15億1,375万円
従業員数	単体：3,341名 連結：4,348名
加盟団体	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) Oracle Partner Network 日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) 情報サービス産業協会 (JISA) 日本情報技術取引所 (JIET) JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture) MONETコンソーシアム

役員

代表取締役会長	逸見 愛親
代表取締役社長	三浦 賢治
常務取締役	甲斐 隆文
常務取締役	河地 伸一郎
取締役	田口 誠
取締役	藤井 宏幸
取締役	逸見 真吾
取締役	小谷 寛
取締役 (社外)	鈴木 行生
取締役 (社外)	小河 耕一
取締役 (社外)	伊藤 麻里
常勤監査役 (社外)	菱田 亨
監査役 (社外)	中村 嘉宏
監査役 (社外)	阿田川 博
監査役 (社外)	徳尾野 信成

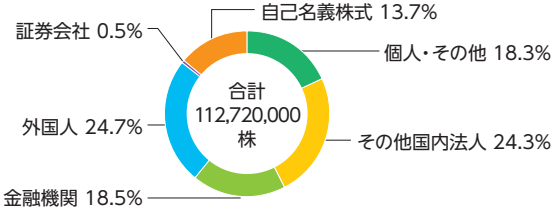
株式の状況

発行可能株式総数	369,600,000株
発行済株式の総数	112,720,000株
株主総数	7,694名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
SMSホールディングス有限会社	26,036,800	23.09
株式会社システナ (自己株式)	15,467,872	13.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,432,300	9.25
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	5,412,100	4.80
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	3,846,900	3.41
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE MONDRIAN INTERNATIONAL SMALL CAP EQUITY FUND, L.P.	3,336,200	2.95
システナ社員持株会	2,521,100	2.23
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,286,808	2.02
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,519,312	1.34
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	1,509,400	1.33

所有者別株式分布状況



ホームページのご案内 https://www.systena.co.jp/

Facebookのご案内 https://www.facebook.com/systena.servicesolution/

詳細なIR情報をはじめ、サービスのご案内、コンプライアンスへの取り組みなど最新の情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日 なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	TEL: 0120-782-031（フリーダイヤル） ● 株式に関するお手続き https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ よくあるご質問はこちら≫
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	2317
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（https://www.systena.co.jp/）に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いのお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-782-031 受付時間 平日 9：00～17：00

株式会社システナ

本社
〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング14F
TEL: 03-6367-3840（代表）　FAX: 03-3578-3012（代表）

横浜事業所
〒220-8123 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー23F
TEL: 045-640-1401　FAX: 045-640-1461

大阪支社
〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号 アプローズタワー18F
TEL: 06-6376-3537　FAX: 06-6359-7012

名古屋事業所・名古屋営業所
〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目23番13号 名古屋大同生命ビル13F
TEL: 052-526-2580　FAX: 052-526-2583

札幌開発センター
〒060-0042 札幌市中央区大通西三丁目6番地 北海道新聞社ビル北一条館4F
TEL: 011-208-1012

福岡開発センター
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東三丁目14番1号 T-Building HAKATA EAST 11F
TEL: 092-477-7401

広島開発センター
〒730-0015 広島市中区橋本町10番10号 広島インテス4F
TEL: 082-577-1100

竹芝デザインスタジオ
〒105-0022 東京都港区海岸一丁目9番18号 国際浜松町ビル2F

川崎デザインスタジオ
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1番地14 キューブ川崎5F

神戸イノベーションラボ
〒650-0032 神戸市中央区伊藤町119 大樹生命神戸三宮ビル3F

松山イノベーションラボ
〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町5－8 オワセビル9F

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022794
www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、FSC®森林認証紙と植物油インキを使用して印刷されています。

GOLD 環境保護印刷 G08-0097
この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com

ENERGY GREEN WIND
この印刷物は、風力で発電されたグリーン電力にて刷版を出力、印刷されています。
※当印刷物の刷版出力に必要な電力量を0.9kWh、9,000部を印刷するのに必要な電力量を69kWhと計算しています